



〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP <https://www.kmnh.jp/>
発行：いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

1年のうちで一番過ごしやすい季節の5月になりましたが、みなさんは、いかがお過ごしでしょうか？様々な面で元の生活に戻りつつありますが、まだまだ気を抜けない状況だと思えます。いのちのたび博物館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め開館しています。みなさんも健康に気を付けて、ぜひ当館へ来てくださいね♪。

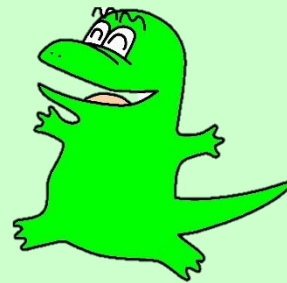
今回は、5月8日(日)まで開催している特別展「まるごとウマ展」を紹介いたします！

しゅうりょうまぢか！
終了間近！！

「まるごとウマ展」の見どころ紹介



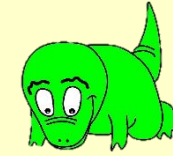
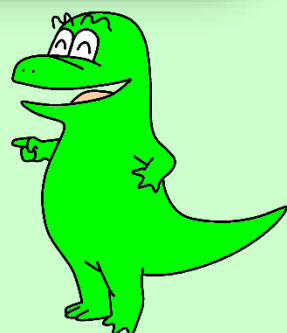
なんと世界初公開
の騎乗姿勢骨格標本「**人馬**」
「**一体**」！武豊騎手監修のもと
作成された世界に一つしかない
ものなんだよ！



これは、北九州市小倉南区のカキ遺跡から出土した馬鍬という農具で、6世紀後半頃に使われていたものなんだ！そんな大昔の北九州で使われていた道具が今に残るなんてすごいね！



三階菱紋が入っていることと制作年代から考えると、小倉藩初代藩主**小笠原忠真**が使ったものかもしれないね！



ミュージアムのタネ



いろいろなかたちの歯～哺乳類の特徴～

私たちと同じように背骨を持っている脊椎動物には、魚類、両生類、は虫類、鳥類、哺乳類がいます。この中でも私たち哺乳類には、体の表面に毛が生えていて、子供を母乳で育てるという特徴があります。さらにもう一つ、哺乳類は他の動物に比べて歯がいろいろな形に進化したという大きな特徴があります。

哺乳類の歯は、切歯、犬歯、臼歯の大きく3つに分けることができます。ヒトでは、私たちが前歯とよんでいるのが噛む面が狭い切歯、奥歯とよんでいるのが平らな臼歯です。人間の犬歯は、切歯と臼歯の間にある系切り歯とよばれている歯です(写真1)。



写真1. ヒトの歯



写真2. ニホンジカ頭骨、ニホンジカ下顎臼歯



写真3. イノシシ頭骨、イノシシ下顎臼歯



それぞれの歯には役割があります。ヒトは食べ物を切歯でかみ切って、臼歯ですりつぶして飲み込みます。霊長類とよばれるヒトやサル仲間には植物も動物も食べる雑食ですが、植物だけを食する草食動物のシカやイノシシの仲間は、草をすりつぶすための臼歯がとても大きくなっています(写真2・3)。



写真4. トラ頭骨、トラ臼歯



写真5. オオカミ頭骨、オオカミ臼歯



写真6. トラの犬歯

一方、完全に動物の肉だけを食するトラやオオカミの臼歯は平らではなく、肉を切るために刃物のように鋭くなっています(写真4・5)また、肉食動物の犬歯は動物を殺すために大きく尖った形をしていて、上下の犬歯がかみ合う部分はまるで刃物のような形です(写真6)

他にも、ネズミやリスなどのげっ歯類は、硬いドングリなどの木の果の殻をかじって中身を食するので、大きくなってすり減っても大丈夫なように一生伸び続ける切歯を持ちます。また、アリを食する専門になったアリクイのように全く歯を持たない動物もいます。このように哺乳類はそれぞれの食物をうまく食べられるように、いろいろな形や大きさの歯を持つようになりまし

た。いのちのたび博物館の中にある「生命の多様性館」には、天井から床下まで360度全方向に現生の生物が分類群ごとに展示されています。ぜひ、様々な生物の似ているところや違うところを探してみてください。

自然史課学芸員(哺乳類担当) 中西 希